

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(Pf)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	Lancet 2007; 370: 1137-1145	H5N1インフルエンザウイルスに感染した男性1名および妊婦1名とその胎児の剖検組織を調べた。肺のⅡ型上皮細胞、気管の上皮細胞、リンパ節のT細胞、脳の神経細胞及び胎盤のボフバウエル細胞と細胞培養層でウイルス遺伝子配列と抗原が検出され、腸粘膜ではウイルス遺伝子配列のみが検出された。胎児では肺、末梢神経細胞、肝マクロファージに遺伝子配列と抗原が検出された。本ウイルスは肺だけでなく気管に感染し、脳を含む他の器官に拡がり、また胎盤を通過し、母親から胎児にも伝播する。
909	2008/02/18	70909	エール薬品	ダルテパリンナトリウム	血液凝固阻 止剤	豚小腸	中華人民共 和国	有効成分	有	無	無	感染	CDC/MMWR 2008; 57(Early Release): 1-3	2007年10月29日、米国Minnesota南東部のブタ処理施設の従業員における原因不明の神経疾患についての報告があり、州保健局と米国CDCが調査中である。2008年1月28日現在、進行性炎症性神経障害症例は12例で、症状はブタ頭部処理に関わったヒトで発生した。原因は特定されていない。
910	2008/02/18	70910	第一三共	フィブリリナジン、デオキシリボヌクレアーゼ	フィブリリナ ジン	牛の血液	ニュージー ランド	有効成分	無	無	無			
911	2008/02/18	70911	第一三共	フィブリリナジン、デオキシリボヌクレアーゼ	デオキシリ ボヌクレアー ゼ	牛の脾臓	ニュージー ランド	有効成分	無	無	無			
912	2008/02/18	70912	日本生物 製剤	ヒト胎盤抽出物	ヒト胎盤抽 出物	ヒト胎盤	日本	有効成分	有	無	無	感染	FDA/CBER 2007年 7月12日	2007年6月19日付けの、ヒト細胞、組織、ならびに細胞および組織由来製品 (HCT/PS)、ドナースクリーニングと検査、ならびに関連するラベリングの最終規則に関するQ&A。FDAがこの最終規則を公表したのはなぜか、最終規則で変化した点は何かまたドナー適格最終規則とどのように異なるか、胎児ドナーのスクリーニングと検査は必要か、ドナーの検体採取時期はいつか、等の質問とそれに対する回答。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	ProMED- mail20070806.2560	2007年7月の英国SEACのposition statementによると、従来のBSEに関連したPrP ^{Sc} とは異なる生化学的特徴を示すPrP ^{Sc} を持つ新たなBSE感染牛が世界各国のサーベイランスプログラムで検出されている。L型およびH型BSE感染牛は臨床症状を示さないか古典的BSE感染牛とは異なる症状を示す。原因は不明である。他の種への感染性は脳内投与により起こることは示されているが、経口投与での感染性は不明である。